

区民委員会報告資料

令和7年11月11日

報告事項件名	頁
1 「足立区多文化共生推進計画の改定に向けた区民意識調査」の調査票と回収状況について	2
2 足立区生涯学習関連施設の指定管理者業務評価結果について	4
3 第3回足立区文化・読書・スポーツ推進委員会（全体会）における各分野の施策評価、アンケート調査及び分野横断での意見交換の結果について	9
4 文化・読書・スポーツに関するアンケート調査の実施について	12
5 高野小学校跡地スポーツ施設の愛称名の区民投票結果について	15
6 デフリンピック機運醸成イベントの実施結果等について	17
7 令和7年度上半期パラスポーツ推進事業の実績について	23
8 令和7年度第2回足立区立図書館協議会の開催結果について	27
9 梅田八丁目複合施設整備に係る地域への説明状況について	33

(地域のちから推進部)

区民委員会報告資料

令和7年11月11日

件名	「足立区多文化共生推進計画の改定に向けた区民意識調査」の調査票と回収状況について																									
所管部課名	地域のちから推進部地域調整課																									
内 容	多文化共生推進計画の改定に向け、外国人と日本人の双方を対象に区民意識調査を実施したため、現在の回収状況および調査票の内容を報告する。																									
	1 回収状況について（10月31日現在）																									
	<table><tr><th>対象</th><th>送付数 (a)</th><th>回収数 (b)</th><th>回収率 (b/a)</th></tr><tr><td rowspan="2">外国人</td><td rowspan="2">3,000件</td><td>郵 送 回 答 557件</td><td>18.56%</td></tr><tr><td>W e b 回 答 432件</td><td>14.40%</td></tr><tr><td rowspan="2">日本人</td><td rowspan="2">2,000件</td><td>郵 送 回 答 524件</td><td>26.20%</td></tr><tr><td>W e b 回 答 461件</td><td>23.05%</td></tr><tr><td>合計</td><td>5,000件</td><td>1,974件</td><td>39.48%</td></tr></table>			対象	送付数 (a)	回収数 (b)	回収率 (b/a)	外国人	3,000件	郵 送 回 答 557件	18.56%	W e b 回 答 432件	14.40%	日本人	2,000件	郵 送 回 答 524件	26.20%	W e b 回 答 461件	23.05%	合計	5,000件	1,974件	39.48%			
	対象	送付数 (a)	回収数 (b)	回収率 (b/a)																						
	外国人	3,000件	郵 送 回 答 557件	18.56%																						
			W e b 回 答 432件	14.40%																						
	日本人	2,000件	郵 送 回 答 524件	26.20%																						
			W e b 回 答 461件	23.05%																						
	合計	5,000件	1,974件	39.48%																						
	2 調査の概要																									
(1) 調査票について 別添資料1・2のとおり																										
(2) 調査対象者・調査方法																										
<table><tr><td></td><td>外国人区民</td><td>日本人区民</td></tr><tr><td>人数※1</td><td>3,000人</td><td>2,000人</td></tr><tr><td>抽出条件</td><td>国籍別、地域別人口比率を勘案し、住民基本台帳より無作為抽出</td><td>住民基本台帳より無作為抽出</td></tr><tr><td>年齢</td><td colspan="2">18歳以上の個人</td></tr><tr><td>調査言語※2</td><td>やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語</td><td>日本語</td></tr><tr><td>調査期間</td><td colspan="2">令和7年9月～10月</td></tr><tr><td>調査方法</td><td colspan="2">郵送にて配布、郵送またはインターネットで回答</td></tr><tr><td>回収率向上に向けた取組み</td><td colspan="2">① 回答期限前に「お礼状兼回答のお願い」を、調査対象者全員へ送付する。 ② 謝礼として回答者に Amazon ギフトカード 500円分を送付する。</td></tr></table>				外国人区民	日本人区民	人数※1	3,000人	2,000人	抽出条件	国籍別、地域別人口比率を勘案し、住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出	年齢	18歳以上の個人		調査言語※2	やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語	日本語	調査期間	令和7年9月～10月		調査方法	郵送にて配布、郵送またはインターネットで回答		回収率向上に向けた取組み	① 回答期限前に「お礼状兼回答のお願い」を、調査対象者全員へ送付する。 ② 謝礼として回答者に Amazon ギフトカード 500円分を送付する。	
	外国人区民	日本人区民																								
人数※1	3,000人	2,000人																								
抽出条件	国籍別、地域別人口比率を勘案し、住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出																								
年齢	18歳以上の個人																									
調査言語※2	やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語	日本語																								
調査期間	令和7年9月～10月																									
調査方法	郵送にて配布、郵送またはインターネットで回答																									
回収率向上に向けた取組み	① 回答期限前に「お礼状兼回答のお願い」を、調査対象者全員へ送付する。 ② 謝礼として回答者に Amazon ギフトカード 500円分を送付する。																									

※1 これまでの外国人実態調査の結果を鑑みると、日本人調査に比べて回収率が低くなると想定されるため、外国人調査の対象数を日本人調査より多く設定した。

※2 外国人向けの調査言語については、やさしい日本語に加え、話者が多い上位5言語で作成した調査票を、国籍別に1通同封する（ベトナム国籍者には、やさしい日本語1通＋ベトナム語1通）。

なお、上記言語以外の国籍者には、公用語として使われている国数が最も多い「英語」を同封する。

(3) 調査項目

外国人調査 (調査票・インタビュー)	言語と学習、仕事、生活、子育てと教育、災害対策、情報伝達、共生に向けた考えなど
日本人調査 (調査票)	外国人との関わりやトラブル経験、共生に向けた考えなど

3 今後の予定

(1) アンケート結果を集計・分析し、今年度内に報告書を作成する。また、報告書は区ホームページにて公開する。

(2) 本調査結果を踏まえ、令和8年度中に推進計画を改定する。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和7年11月11日

件名	足立区生涯学習関連施設の指定管理者業務評価結果について																						
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室生涯学習支援課 スポーツ振興課、中央図書館																						
内 容	令和6年度の生涯学習関連施設における業務について、足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という。）による評価を行ったので、次のとおり報告する。																						
	▼▼▼《標準点》 <table><tr><td>A⁺</td><td>A</td><td>A⁻</td><td>B⁺</td><td>B</td><td>B⁻</td><td>C</td></tr></table>						A ⁺	A	A ⁻	B ⁺	B	B ⁻	C										
	A ⁺	A	A ⁻	B ⁺	B	B ⁻	C																
	1 評価対象施設および評価結果																						
	すべての施設が標準点（B評価）を超えるB＋評価以上である。																						
	（参照）別紙1 足立区生涯学習関連施設指定管理者業務評価結果一覧 別添資料3 足立区生涯学習関連施設指定管理者業務評価資料																						
	【評価区分別一覧】																						
	<table><tr><th>評価</th><th>5 年度</th><th>6 年度</th><th>施設名</th></tr><tr><td>A</td><td>1 施設</td><td>1 施設</td><td>保塚地域学習センター</td></tr><tr><td>A⁻</td><td>1 3 施設</td><td>1 4 施設</td><td>1 1 地域学習センター（伊興、興本、江北、佐野、鹿浜、新田、竹の塚、中央本町、東和、舎人、花畑）、江南コミュニティ図書館、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>6 施設</td><td>5 施設</td><td>生涯学習センター、梅田地域学習センター、スイムスポーツセンター、千住温水プール、平野運動場</td></tr></table>						評価	5 年度	6 年度	施設名	A	1 施設	1 施設	保塚地域学習センター	A ⁻	1 3 施設	1 4 施設	1 1 地域学習センター（伊興、興本、江北、佐野、鹿浜、新田、竹の塚、中央本町、東和、舎人、花畑）、江南コミュニティ図書館、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール	B ⁺	6 施設	5 施設	生涯学習センター、梅田地域学習センター、スイムスポーツセンター、千住温水プール、平野運動場	
	評価	5 年度	6 年度	施設名																			
	A	1 施設	1 施設	保塚地域学習センター																			
A ⁻	1 3 施設	1 4 施設	1 1 地域学習センター（伊興、興本、江北、佐野、鹿浜、新田、竹の塚、中央本町、東和、舎人、花畑）、江南コミュニティ図書館、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール																				
B ⁺	6 施設	5 施設	生涯学習センター、梅田地域学習センター、スイムスポーツセンター、千住温水プール、平野運動場																				
【昨年度評価結果との比較】																							
<table><tr><th>区分</th><th>R5→R6</th><th>施設名</th></tr><tr><td rowspan="2">評価が 上がった 3 施設</td><td>A⁻→ A</td><td>保塚地域学習センター 【要因】会計収支が改善したため</td></tr><tr><td>B⁺→ A⁻</td><td>2 地域学習センター（新田、東和） 【要因】（新田）主要事業の発展が評価されたため （東和）事業計画の未達成が改善したため</td></tr><tr><td rowspan="2">評価が 変わらない 1 5 施設</td><td>A⁻→ A⁻</td><td>8 地域学習センター（伊興、興本、江北、佐野、鹿浜、中央本町、舎人、花畑）、江南コミュニティ図書館、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール</td></tr><tr><td>B⁺→ B⁺</td><td>生涯学習センター、スイムスポーツセンター、千住温水プール、平野運動場</td></tr><tr><td rowspan="2">評価が 下がった 2 施設</td><td>A → A⁻</td><td>竹の塚地域学習センター 【要因】主要事業の周知方法に工夫が見られず、集客が振るわなかったため</td></tr><tr><td>A⁻→ B⁺</td><td>梅田地域学習センター 【要因】窓口対応において、昨年度と同様の手続きミスがあり、未改善であったため</td></tr></table>						区分	R5→R6	施設名	評価が 上がった 3 施設	A ⁻ → A	保塚地域学習センター 【要因】会計収支が改善したため	B ⁺ → A ⁻	2 地域学習センター（新田、東和） 【要因】（新田）主要事業の発展が評価されたため （東和）事業計画の未達成が改善したため	評価が 変わらない 1 5 施設	A ⁻ → A ⁻	8 地域学習センター（伊興、興本、江北、佐野、鹿浜、中央本町、舎人、花畑）、江南コミュニティ図書館、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール	B ⁺ → B ⁺	生涯学習センター、スイムスポーツセンター、千住温水プール、平野運動場	評価が 下がった 2 施設	A → A ⁻	竹の塚地域学習センター 【要因】主要事業の周知方法に工夫が見られず、集客が振るわなかったため	A ⁻ → B ⁺	梅田地域学習センター 【要因】窓口対応において、昨年度と同様の手続きミスがあり、未改善であったため
区分	R5→R6	施設名																					
評価が 上がった 3 施設	A ⁻ → A	保塚地域学習センター 【要因】会計収支が改善したため																					
	B ⁺ → A ⁻	2 地域学習センター（新田、東和） 【要因】（新田）主要事業の発展が評価されたため （東和）事業計画の未達成が改善したため																					
評価が 変わらない 1 5 施設	A ⁻ → A ⁻	8 地域学習センター（伊興、興本、江北、佐野、鹿浜、中央本町、舎人、花畑）、江南コミュニティ図書館、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール																					
	B ⁺ → B ⁺	生涯学習センター、スイムスポーツセンター、千住温水プール、平野運動場																					
評価が 下がった 2 施設	A → A ⁻	竹の塚地域学習センター 【要因】主要事業の周知方法に工夫が見られず、集客が振るわなかったため																					
	A ⁻ → B ⁺	梅田地域学習センター 【要因】窓口対応において、昨年度と同様の手続きミスがあり、未改善であったため																					

2 委員会での主な意見

(1) 評価全般について

ア 20施設中3施設で評価区分が上がった。また、評価区分が同一であった15施設においても、10施設で得点率が上がり、全体的に高評価であった。

イ 20施設中10施設が5年間の指定管理期間のうち運営4年目で、5ヵ年計画主要事業の最終段階にあり、地域との連携が醸成されていた。

(2) 指定管理業務について

区分	主な意見
イベント・講座	地域特性や地域団体（学校、福祉施設、町会・自治会、商店等）のニーズを捉え、効果的に連携できている。
	就学前施設への出張おはなし会や園での本の貸出等、アウトリーチ事業を多数実施し、利用者数を増加させる工夫が見られた。
	地域の中から講師やボランティアを発掘し育てる取り組みが、地域の活性化を促進している。
接遇・サービス向上	利用者の視点に立ち、ピクトグラムを使用した掲示物へのリニューアル、障がい者避難を想定した防災・避難訓練等の取り組みが実施されている。
	接遇、LGBT、カスタマーハラスメント等、重要なテーマの研修が実施されている。
休館中の運営体制	中央本町センターは、大規模改修工事による長期休館を好機と捉え、“今後につなげていく”運営を意識して、地域連携事業の強化に取り組んだ。
	鹿浜図書館は、トコジラミの発生により予期せぬ休館となったが、複合施設内で学習室を開放する等、施設全体でサービス維持に取り組んだ。
事業収入の確保(課題)	マイナス収支の施設では、事業収入の確保に課題が見られた。 今後、指定管理者に対し、モニタリング等でニーズ調査、広報活動の効果、分析方法等を確認し改善を指導していく。

3 評価の実施概要

(1) 開催日

令和7年8月13日(水)～15日(金)、18日(月)の4日

(2) 評価対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(3) 評価委員会委員構成(計5名)

種 別	氏 名	役職等
学識経験者 (有識者含む)	【委員長】 酒 井 雅 男	銀座ヒラソル法律事務所 弁護士
	【副委員長】 原 田 隆 史	八洲学園大学 生涯学習学科 教授 岐阜女子大学 特任教授
	今 西 ひとみ	帝京科学大学 幼児保育学科 教授
区 民	田 中 ひろ子	足立区スポーツ協会 会長
区 職 員	齊 藤 ひろみ	保育・入園課長

(4) 評価方法

ア 指定管理者による自己評価(セルフチェック)

イ 区職員による実態調査(モニタリング、利用者アンケートの集計・分析)に基づく評価

ウ 評価委員会による提出資料※の確認及び統括責任者ヒアリングに基づく第三者の視点での評価

※ 評価委員会への提出資料

業務評価シート、チェックシート、利用者アンケート集計結果、業務実績の統計資料

4 評価結果の公表

令和7年11月11日(火)から区ホームページ公表予定

5 今後の方針

今回の評価結果を指定管理者に通知し、評価委員会にて改善が必要とされた項目は改善計画書を提出させる。改善結果は、区職員による実態調査及び次年度の評価委員会における審議により確認していく。

足立区生涯学習関連施設指定管理者業務評価結果一覧

別紙 1

1 生涯学習センター

No	施設名	指定管理者・代表者氏名	R6年度指定管理料 (年度協定額)	令和5年度評価結果			令和6年度評価結果			対昨年度比評価
				評価点/満点	得点率	評価	評価点/満点	得点率	評価	
1	生涯学習センター	あだち学びときずな創造事業体 代表者 伊藤 治光	349,272,540円	161/235	68.5%	B+	169/235	71.9%	B+	

2 地域学習センター（令和6年度の得点率順）

No	施設名	指定管理者・代表者氏名	R6年度指定管理料 (年度協定額)	令和5年度評価結果			令和6年度評価結果			対昨年度比評価
				評価点/満点	得点率	評価	評価点/満点	得点率	評価	
1	保塚地域学習センター	(株) グランディオサービス 代表者 林 秀樹	119,018,600円	165/200	82.5%	A-	168/200	84.0%	A	
2	興本地域学習センター ★	(株) TMエンタープライズ 代表者 川名 康仁	126,219,266円	161/200	80.5%	A-	166/200	83.0%	A-	
3	佐野地域学習センター ★	(株) グランディオサービス 代表者 林 秀樹	130,091,964円	159/200	79.5%	A-	163/200	81.5%	A-	
4	鹿浜地域学習センター ★	ヤオキン商事(株) 代表者 伊藤 治光	129,378,111円	162/200	81.0%	A-	163/200	81.5%	A-	
5	花畑地域学習センター ★	TM・アズビル共同事業体 代表者 川名 康仁	178,458,553円	159/200	79.5%	A-	161/200	80.5%	A-	
6	江北地域学習センター ★	(株) TMエンタープライズ 代表者 川名 康仁	128,144,247円	165/200	82.5%	A-	160/200	80.0%	A-	
7	舎人地域学習センター	ヤオキン商事(株) 代表者 伊藤 治光	120,790,000円	163/200	81.5%	A-	159/200	79.5%	A-	
8	中央本町地域学習センター ★ ※1	ヤオキン商事(株) 代表者 伊藤 治光	73,068,080円	157/200	78.5%	A-	143/180	79.4%	A-	
9	竹の塚地域学習センター	ヤオキン商事(株) 代表者 伊藤 治光	175,389,765円	167/200	83.5%	A	156/200	78.0%	A-	
10	東和地域学習センター ★	みんなでつくるあだちの未来 共同事業体 代表者 松井 聡	157,937,925円	146/200	73.0%	B+	155/200	77.5%	A-	
11	伊興地域学習センター ★	(株) グランディオサービス 代表者 林 秀樹	136,567,143円	154/200	77.0%	A-	154/200	77.0%	A-	
12	新田地域学習センター	(株) グランディオサービス 代表者 林 秀樹	114,881,093円	149/200	74.5%	B+	154/200	77.0%	A-	
13	梅田地域学習センター ★	みんなでつくるあだちの未来 共同事業体 代表者 松井 聡	227,779,271円	150/200	75.0%	A-	149/200	74.5%	B+	

※ 全ての地域学習センターに地域図書館併設。★マークは地域体育館も併設。

※1 中央本町地域学習センターは令和5年9月1日から令和7年3月25日まで改修工事のため休館。令和6年度は評価項目、配点、満点が前年度と異なる。

3 地域図書館

No	施設名	指定管理者・代表者氏名	R6年度指定管理料 (年度協定額)	令和5年度評価結果			令和6年度評価結果			対昨年度比評価
				評価点/満点	得点率	評価	評価点/満点	得点率	評価	
1	江南コミュニティ図書館	(株)TMエンタープライズ 代表者 川名 康仁	52,172,000円	144/180	80.0%	A-	147/180	81.7%	A-	

4 スポーツ施設（令和6年度の得点率順）

No	施設名	指定管理者・代表者氏名	R6年度指定管理料 (年度協定額)	令和5年度評価結果			令和6年度評価結果			対昨年度比評価
				評価点/満点	得点率	評価	評価点/満点	得点率	評価	
1	総合スポーツセンター	あだちの未来協創グループ 代表者 水野 明人	314,406,500円	136/180	75.6%	A-	142/180	78.9%	A-	
2	東綾瀬公園温水プール	TM・アズビル共同事業体 代表者 川名 康仁	114,842,378円	139/180	77.2%	A-	136/180	75.6%	A-	
3	竹の塚温水プール・体育館 (スイムスポーツセンター)	TM・アズビル共同事業体 代表者 川名 康仁	198,786,132円	123/180	68.3%	B+	134/180	74.4%	B+	
4	平野運動場	ヤオキン商事(株) 代表者 伊藤 治光	32,734,000円	123/180	68.3%	B+	125/180	69.4%	B+	
5	千寿本町小学校温水プール	野村不動産ライフ&スポーツ・ 日建総業共同事業体 代表者 小林 利彦	88,550,000円	127/180	70.6%	B+	122/180	67.8%	B+	

【足立区生涯学習関連施設指定管理者評価委員会 評価基準】

生涯学習センター(235点満点)

委員会の評価点※	委員会の評価
212点以上	A+
196～211点	A
177～195点	A-
158～176点	B+
139～157点 (標準点141点※)	B
127～138点	B-
126点以下	C

地域学習センター(200点満点)

委員会の評価点※	委員会の評価
180点以上	A+
167～179点	A
150～166点	A-
134～149点	B+
119～133点 (標準点120点※)	B
109～118点	B-
108点以下	C

中央本町センター、地域図書館、
スポーツ施設(180点満点)

委員会の評価点※	委員会の評価
162点以上	A+
150～161点	A
135～149点	A-
121～134点	B+
107～120点 (標準点108点※)	B
98～106点	B-
97点以下	C

※ 評価点は、評価項目ごとに全委員の平均点を算出し、これを合計したものである。合計した評価点は、小数点以下は切捨て、整数とする。

※ 「標準点」は評価項目がすべて「3」(水準クリア)の評価を受けた場合の得点。

区民委員会報告資料

令和7年11月11日

件名	第3回足立区文化・読書・スポーツ推進委員会（全体会）における各分野の施策評価、アンケート調査及び分野横断での意見交換の結果について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室3分野連携担当課 地域文化課、生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館
内容	令和7年9月26日（金）に、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会（以下「推進委員会」という。）の全体会を開催したため、その結果について、次のとおり報告する。 1 第3回推進委員会（全体会）の目的 （1）分野ごとの部会の審議結果（各分野の施策評価、アンケート調査の検討）を3分野全体で共有し、現状や課題についての共通認識を得る。 （2）分野横断による意見交換を実施し、3分野連携の推進や新計画に向けた課題を確認する。 《第3回推進委員会の位置づけ》 各部会 第3回推進委員会（全体会） <pre> graph LR subgraph Departments CA["【文化芸術】 施策評価 アンケート"] R["【読書】 施策評価 アンケート"] S["【運動・スポーツ】 施策評価 アンケート"] end subgraph CentralBox [第3回推進委員会（全体会）] C1["施策評価の共有、意見交換"] C2["アンケートに向けた意見交換"] C3["分野横断での意見交換"] end CA --> C1 R --> C1 S --> C1 CA --> C2 R --> C2 S --> C2 CA --> C3 R --> C3 S --> C3 C1 -- 反映 --> S1["アンケート調査"] C2 -- 反映 --> S1 C3 -- 反映 --> S2["新計画策定に向けた議論"] S1 -- 反映 --> S2 S2 --> S3["新計画策定（令和9年4月から）"] </pre> 2 各分野の施策評価の共有、意見交換（別添資料4・5） 【当日の主な意見】 （1）例えば、評価「4」（目標達成に向けた一定の成果が出ており、取り組み手法も概ね適切であると評価できる）の施策は思い切って見直す（スクラップする）などして、新規性を取り入れた施策・事業を展開する必要があるのではないか。 （2）今後は、この推進委員会の意義である「3分野連携の推進」がどのように反映されるのかといった視点も「今後の方向性」に取り入れてほしい。

3 区民アンケート調査の実施に向けた意見交換

岩永委員長の発議により、今回、外部有識者として、森村繁晴氏（放送大学 次世代教育研究開発センター 特命研究員）が出席した。

【当日の主な意見】

(1) 森村氏から

ア 配付数（3, 000件）は、社会調査の観点から妥当である。

イ 依頼文には、調査の目的やメリットなどを、伝わりやすく記載すべきである。

ウ 設問数（50問）が多いため、若干の削減を検討すべきである。

3分野をまとめて質問するという構造上、設問数を減らしきれない場合は、少しでも広く意見を拾えるよう自由記述欄の拡充を検討してほしい。

エ 「地域満足度（足立区に愛着を持っているか、足立区に誇りを持っているか）」の設問は、分析を深めることで個人のウェルビーイングの向上にも寄与するものであり、評価できる。

(2) その他

ア 経年比較の観点から、あまり大幅な変更（一からの組み立て直しなど）は、次回以降のタイミングで検討したほうがよい。

イ 回答者が少しでも回答しやすく感じられるよう、設問数や回答時間の目安を記載してほしい。

※ 区民アンケート調査の詳細についてはP12～P14を参照

4 分野横断（グループ形式）での意見交換

過去の審議会における「分野別の議論だけでなく、分野を横断した意見交換をしたい」との意見を踏まえ、3分野混成の小グループを編成し、3分野連携の推進や新計画に向けた課題に関する意見交換を行った。

【当日の主な意見】

テーマ	発言内容
3分野 連携の推進	① 3分野のどれもが「脇役」となるイベントなども考えてみてはどうか。 【読書 長沖委員】
	② （①の発言を受けて）「3分野の要素を取り入れたウォークラリー」など、イベントのテーマ設定を工夫することで、区のボトルネック的課題をまとめて解決していくという発想も取り入れてみてはどうか。 【文化 傍嶋委員】
	③ デフリンピックは、文化（手話）の切り口とスポーツの切り口で、3分野連携の1つの可能性になり得ると感じている。 【読書 古瀬委員】
	④ 民間のジムやスポーツクラブなど、サードプレイスとして、人が集まるところでのPRも重要ではないか。 【スポーツ 中村委員】

テーマ	発言内容
新計画に向けた課題	① 共通理念に基づく、明確な方向性を持った施策展開が必要ではないか。【スポーツ 中村委員】 ② 学習センターを活用した連携事業が、足立区では非常に多く展開されている。 ただ、そのどこまでが「文化芸術」と言えるかは、改めて考える必要がある。【文化 葛西委員】 ③ 例えば「パラスポーツ」では、障がい者限定というような印象を与えないよう「インクルーシブスポーツ」という表現を検討するなど、情報発信の仕方が重要だと感じる。 【スポーツ 木村委員】
5 今後の方針	
評価結果、及びこれから実施する区民アンケート調査の分析結果を踏まえ、令和8年2月頃からの新計画策定に向けた議論を本格化させていく。	

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

件 名	文化・読書・スポーツに関するアンケート調査の実施について																							
所管部課名	<u>地域のちから推進部生涯学習支援室 3 分野連携担当課</u> 地域文化課、生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館																							
内 容	令和 9 年度から開始予定の、新しい足立区文化・読書・スポーツ分野計画（以下「3 分野計画」という。）の策定に向けた基礎調査として、文化・読書・スポーツに関するアンケート調査を実施する。 1 調査対象・調査方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th><th>対象者</th><th>配布数</th><th>調査方法</th><th>質問数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>16 歳以上の一般区民</td><td>3,000 件</td><td>① 紙※¹とインターネットの 2 種類の回答フォームを用意する。 ② 調査票の配布は、次のとおりとする。 【No. 1 の区分】 郵送で配布 【No. 2 の区分】 団体を通じて配布 ③ 回答者は、紙とインターネットを任意に選択のうえ、回答する。</td><td>計 45 問</td></tr> <tr> <td>3</td><td>区立小学校（一部）に在籍する小学 5 年生の保護者・児童</td><td>約 700 件</td><td>① インターネット※²の 1 種類の回答フォームのみを用意する。 ② 依頼文を、学校を通じて配布する。 ③ 回答者は、インターネットから回答する。</td><td>計 35 問</td></tr> <tr> <td>4</td><td>区立中学校（一部）に在籍する中学 1 年生の保護者・生徒</td><td>約 700 件</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				No	対象者	配布数	調査方法	質問数	1	16 歳以上の一般区民	3,000 件	① 紙※ ¹ とインターネットの 2 種類の回答フォームを用意する。 ② 調査票の配布は、次のとおりとする。 【No. 1 の区分】 郵送で配布 【No. 2 の区分】 団体を通じて配布 ③ 回答者は、紙とインターネットを任意に選択のうえ、回答する。	計 45 問	3	区立小学校（一部）に在籍する小学 5 年生の保護者・児童	約 700 件	① インターネット※ ² の 1 種類の回答フォームのみを用意する。 ② 依頼文を、学校を通じて配布する。 ③ 回答者は、インターネットから回答する。	計 35 問	4	区立中学校（一部）に在籍する中学 1 年生の保護者・生徒	約 700 件		
No	対象者	配布数	調査方法	質問数																				
1	16 歳以上の一般区民	3,000 件	① 紙※ ¹ とインターネットの 2 種類の回答フォームを用意する。 ② 調査票の配布は、次のとおりとする。 【No. 1 の区分】 郵送で配布 【No. 2 の区分】 団体を通じて配布 ③ 回答者は、紙とインターネットを任意に選択のうえ、回答する。	計 45 問																				
3	区立小学校（一部）に在籍する小学 5 年生の保護者・児童	約 700 件	① インターネット※ ² の 1 種類の回答フォームのみを用意する。 ② 依頼文を、学校を通じて配布する。 ③ 回答者は、インターネットから回答する。	計 35 問																				
4	区立中学校（一部）に在籍する中学 1 年生の保護者・生徒	約 700 件																						

- ※1 紙の調査票、および依頼文には、インターネット回答フォームのQRコード、URLを記載する。
- ※2 今回のアンケート調査では、一般区民（障がい者）、区立小、中学校ともに、委託事業者が用意した専用のインターネット回答フォームを使用する。

2 質問票の主な項目（16歳以上の一般区民・障がい者など）

共通	① 基本属性（性別、年齢、職業、子どもの有無など） ② 3分野への関心（度合い、きっかけなど） ③ 生活実態（日々の満足度、足立区への愛着度など）
文化	① 関心のあるジャンル ② 文化活動への関わりの程度（文化芸術作品や伝統芸能、文化財の鑑賞、文化芸術に関するイベントや講座への参加など） ③ 足立区の文化芸術事業に対する感じ方 ④ 文化芸術情報の入手手段【新規】
読書	① 読書の仕方（紙の本、スマートフォンなど） ② 読書活動への関わりの程度（家族や知人と本に関する会話や本の貸し借り、好きな著者や本をテーマとしたイベントへの参加など） ③ 電子書籍を読む頻度 ④ 区立図書館の利用実態（目的、居心地や区立図書館に対する感じ方など）【新規】
スポーツ	① スポーツの実施頻度、実施場所 ② スポーツ活動への関わりの程度（大会や試合の観戦、スポーツを支える活動への参加など） ③ 地域ボランティアへの関心の度合い【新規】 ④ スポーツ活動に求めること（参加してみたいプログラム、より取り組みやすくなる支援や環境など）【新規】

3 調査のポイント

- （1）文化・読書・スポーツ分野における関心や行動の実態と、関心喚起や行動変容のきっかけや課題を把握する。
- （2）3分野計画の指標には、本調査により、経年変化を把握することとしているものが複数ある。
- （3）3分野のアンケートを1つの調査票で同時に実施することで、3分野の関心・行動の度合いのほか「3分野連携」の特徴的な事実や傾向を分析する。

4 実施スケジュール

実施時期	実施内容
令和7年11月11日（火）	区民委員会にて概要を報告
11月中旬から 12月下旬まで	アンケートの実施
令和8年 1月上旬から	アンケートの集計・分析
2月下旬	文化・読書・スポーツ推進委員会 にて集計結果を報告
3月下旬	報告書のとりまとめ

5 今後の方針

- （1）アンケートの集計結果について、文化・読書・スポーツ推進委員会で報告のうえ、新しい3分野計画の策定に向けた具体的な議論を進めていく。
- （2）集計結果は、報告書として取りまとめのうえ、区ホームページにて公開する。

《参考》前回の令和3年度アンケートについて

- （1）調査目的・対象・主な質問項目
今回調査と同様
- （2）調査の位置づけ
現計画の見直しのための基礎調査
- （3）調査時期
令和3年10月～12月
- （4）回答数・回答率

No	配布数	有効回答数	有効回答率
1	8,000 件	2,849 件	35.6%
2	200 件	98 件	49.0%
3	643 件	559 件	86.9%
4	753 件	605 件	80.3%

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和7年11月11日

件 名	高野小学校跡地スポーツ施設の愛称名の区民投票結果について																																																					
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																																																					
内 容	高野小学校跡地スポーツ施設の愛称名について、最終候補 5 点の区民投票結果を次のとおり決定したので報告する。 1 愛称名決定 『高野スポーツパーク』 2 投票結果 (1) 候補名別得票数 <table><tr><th>No.</th><th>最終候補名</th><th>得票数</th></tr><tr><td>1</td><td>江北スポーツパーク</td><td>1 2 2 票</td></tr><tr><td>2</td><td>こうほくスポーツパーク</td><td>5 8 票</td></tr><tr><td>3</td><td>高野スポーツパーク</td><td>2 9 1 票</td></tr><tr><td>4</td><td>スポーツガーデンこうほく</td><td>9 2 票</td></tr><tr><td>5</td><td>スポーツパーク江北</td><td>8 9 票</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>6 5 2 票</td></tr></table> (2) 投票方法別投票結果 <table><tr><th>投票方法</th><th>有効票</th><th>無効票</th></tr><tr><td>インターネット投票</td><td>1 8 6 票</td><td>0 票</td></tr><tr><td>紙投票</td><td>4 6 6 票</td><td>1 票</td></tr><tr><td>合 計</td><td>6 5 2 票</td><td>1 票</td></tr></table> (3) 『高野スポーツパーク』の年代別投票結果 <table><caption>『高野スポーツパーク』の年代別投票結果</caption><tr><th>年代</th><th>投票者数(人)</th></tr><tr><td>10歳未満</td><td>4</td></tr><tr><td>10歳代</td><td>221</td></tr><tr><td>20歳代</td><td>6</td></tr><tr><td>30歳代</td><td>1</td></tr><tr><td>40歳代</td><td>22</td></tr><tr><td>50歳代</td><td>7</td></tr><tr><td>60歳代</td><td>5</td></tr><tr><td>70歳以上</td><td>5</td></tr><tr><td>不明</td><td>20</td></tr></table>	No.	最終候補名	得票数	1	江北スポーツパーク	1 2 2 票	2	こうほくスポーツパーク	5 8 票	3	高野スポーツパーク	2 9 1 票	4	スポーツガーデンこうほく	9 2 票	5	スポーツパーク江北	8 9 票	合 計		6 5 2 票	投票方法	有効票	無効票	インターネット投票	1 8 6 票	0 票	紙投票	4 6 6 票	1 票	合 計	6 5 2 票	1 票	年代	投票者数(人)	10歳未満	4	10歳代	221	20歳代	6	30歳代	1	40歳代	22	50歳代	7	60歳代	5	70歳以上	5	不明	20
No.	最終候補名	得票数																																																				
1	江北スポーツパーク	1 2 2 票																																																				
2	こうほくスポーツパーク	5 8 票																																																				
3	高野スポーツパーク	2 9 1 票																																																				
4	スポーツガーデンこうほく	9 2 票																																																				
5	スポーツパーク江北	8 9 票																																																				
合 計		6 5 2 票																																																				
投票方法	有効票	無効票																																																				
インターネット投票	1 8 6 票	0 票																																																				
紙投票	4 6 6 票	1 票																																																				
合 計	6 5 2 票	1 票																																																				
年代	投票者数(人)																																																					
10歳未満	4																																																					
10歳代	221																																																					
20歳代	6																																																					
30歳代	1																																																					
40歳代	22																																																					
50歳代	7																																																					
60歳代	5																																																					
70歳以上	5																																																					
不明	20																																																					

(4) 周知方法

- ア ポスター及びチラシの掲示（区民事務所、スポーツ施設等）
- イ 区ホームページ、SNSへの掲載
- ウ 江北小学校及び江北桜中学校の全校児童・生徒へのチラシ配布
- エ 足立区サッカー協会への周知協力依頼

3 今後の予定

- (1) 決定した愛称名は、令和7年11月11日（火）に区ホームページで公表する。
- (2) 愛称名は、建物や看板に掲示する。
- (3) 令和7年11月11日（火）以降に作成する区広報物等には愛称名を使用する。
- (4) 地域の方に認知していただけるよう、まちづくりニュースを通じて情報発信をするなど、丁寧な周知を行っていく。

(参考) これまでの選考経過

愛称名の区民公募	応募総数	280点
	応募資格	区内在住、在勤、在学
	応募期間	令和7年5月1日(木)～5月31日(土)
	応募方法	1 区ホームページ 2 区民事務所、区内スポーツ施設で応募用紙配布
最終候補5点の選出	庁内選考	280点の候補から20点を選出 (令和7年7月実施)
	地域選考	庁内選考後の20点から、江北地区まちづくり連絡会において5点を選出 (令和7年8月実施)
	選考基準	1 親しみが持てる 2 わかりやすい、呼びやすい、読みやすい 3 スポーツ施設がイメージできる

区民委員会報告資料

令和7年11月11日

件名	デフリンピック機運醸成イベントの実施結果等について																																				
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																																				
内容	東京武道館で行われるデフリンピックの柔道・空手競技の開催に向けて実施した、機運醸成イベントの実施結果等について報告する。 1 「デフアスリートによる小・中学校出前教室」「足立区にゆかりある選手等の壮行会」「デフリンピックPR展示」の総評 (1) 多くの方にイベントに参加していただき、デフリンピックの機運醸成を通じて耳の聞こえない方の理解につなげることができた。 (2) デフリンピック自体の運営計画が直前まで示されず、準備期間が短い中での事業実施となったため、実施時期や地域などに偏りが生じてしまった。 2 デフアスリートによる小・中学校出前教室の実施 (1) 実施内容 デフアスリートによる聴覚障がいに関する講演や実技披露など。 ア 自身の生い立ちや聴覚障がいの種類、接し方等について イ 空手の形の実演や柔道の投げ技（選手が投げられる）の実演 ウ デフリンピックへの意気込みや特技などの質疑応答 (2) 派遣デフアスリート ア 女子空手（団体形） 湯澤 葵（ゆざわ あおい）選手 ※ 足立区在住 イ 男子柔道 蒲生 和麻（がもう かずま）選手 (3) 実施結果 <table><tr><th>日程</th><th>学校名</th><th>種目</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>9月24日（水）午前</td><td>北三谷小学校</td><td>柔道</td><td>154</td></tr><tr><td>9月27日（土）午前</td><td>東綾瀬中学校</td><td>柔道</td><td>387</td></tr><tr><td>9月30日（火）午後</td><td>蒲原中学校</td><td>空手</td><td>508</td></tr><tr><td>10月 2日（木）午前</td><td>東湊江小学校</td><td>空手</td><td>79</td></tr><tr><td>10月 3日（金）午前</td><td>中島根小学校</td><td>柔道</td><td>92</td></tr><tr><td>10月 7日（火）午前</td><td>綾瀬小学校</td><td>空手</td><td>149</td></tr><tr><td>10月 8日（水）午前</td><td>東綾瀬小学校</td><td>柔道</td><td>486</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td><u>1,855</u></td></tr></table>	日程	学校名	種目	参加人数	9月24日（水）午前	北三谷小学校	柔道	154	9月27日（土）午前	東綾瀬中学校	柔道	387	9月30日（火）午後	蒲原中学校	空手	508	10月 2日（木）午前	東湊江小学校	空手	79	10月 3日（金）午前	中島根小学校	柔道	92	10月 7日（火）午前	綾瀬小学校	空手	149	10月 8日（水）午前	東綾瀬小学校	柔道	486	合計			<u>1,855</u>
日程	学校名	種目	参加人数																																		
9月24日（水）午前	北三谷小学校	柔道	154																																		
9月27日（土）午前	東綾瀬中学校	柔道	387																																		
9月30日（火）午後	蒲原中学校	空手	508																																		
10月 2日（木）午前	東湊江小学校	空手	79																																		
10月 3日（金）午前	中島根小学校	柔道	92																																		
10月 7日（火）午前	綾瀬小学校	空手	149																																		
10月 8日（水）午前	東綾瀬小学校	柔道	486																																		
合計			<u>1,855</u>																																		

(4) 児童・生徒の反応

ア 東京武道館で実施することを知り、「応援に来てくれるかな？」というアスリートの言葉に頷く児童・生徒が多数見られた。

イ 補聴器を外した際には、大きな音でも聞こえないことを知り、驚く様子が見られた。

ウ 世界大会で好成績を残すアスリートに対し、普段の生活やトレーニング方法など、自身の興味に合わせてたくさんの質問をしていた。

(5) 教職員の意見

ア デフアスリート本人から直接お話しを伺い、実技を披露いただいたため、児童・生徒にとっても良い機会となった。

イ デフリンピック開催に合わせて調べ学習のテーマとしていたため、覚えた手話や知識を活かすことができた。

(6) デフアスリートの感想

ア どの学校にも温かく歓迎していただき、子どもたちから応援してもらえたので、大会に向けてモチベーションが上がった。

イ ろう者理解促進の機会を提供してもらえてありがたい。

(7) 当日の様子



3 足立区にゆかりある選手等の壮行会

(1) 実施日時・実施場所

10月8日（水）午後7時開始・本庁舎2階庁舎ホール

(2) 対象選手等

日本選手団名簿において住所が『足立区』と記載されている選手、ならびに区職員選手

氏名	競技	備考
若松 優津	女子バスケットボール	
辻井 隆伸	男子ハンドボール	都市建設課ユニバーサルデザイン担当係長
定野 巧	男子ハンドボール	学務課助成係
湯澤 葵	女子空手 団体形	
田苗 優希	自転車	スタッフメンバー（事務）
野尻 房男	ゴルフ	スタッフメンバー（総監督）

(3) 実施概要

- ア 選手等の紹介
- イ 大会に向けての意気込み発表
- ウ 会場全員で応援
- エ 選手等へプレゼント贈呈

(4) 来場者数

344人

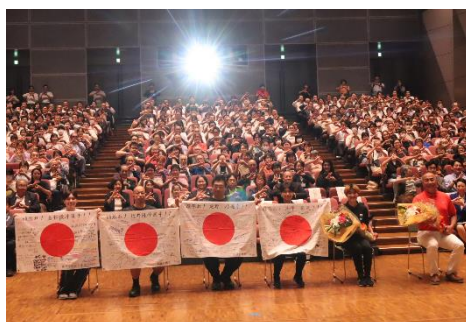
(5) 選手等の感想

- ア たくさんの方に応援していただき、身が引き締まる思い。
- イ 暖かい応援をいただき、感動して涙が出そうになった。

(6) 来場者の感想

- ア 拍手の音が無くとも、皆で覚えたサインエールで会場が一体となっていた。
- イ 音が無い壮行会であったが、選手紹介のスライドやプレゼントの贈呈などで、盛り上がりを感じた。

(7) 当日の様子



4 デフリンピックPR展示

(1) 実施結果

イベント名	実施日	実施結果
第12回東京拘置所矯正展	9月27日(土)	テントブース来客数 729人
アリオ西新井 1階PR展示	9月29日(月) ～ 10月4日(土)	クイズ参加者数 411人
あだち区民まつり「A-Festa 2025」	10月11日(土) 12日(日)	テントブース来客数 1,810人
スポーツカーニバル	10月13日(月・祝)	来場者数 8,825人 クイズ参加者数 539人

(2) 展示物

ア デフリンピックの紹介パネル

イ 公式アンバサダーのポスターパネル

ウ 東京武道館の開催情報とデフリンピック応援隊であるビュー坊の紹介パネル

エ デフリンピック競技における視覚による情報保障の説明パネル

(3) 当日の様子

【矯正展】



【あだち区民まつり】



【アリオ西新井】



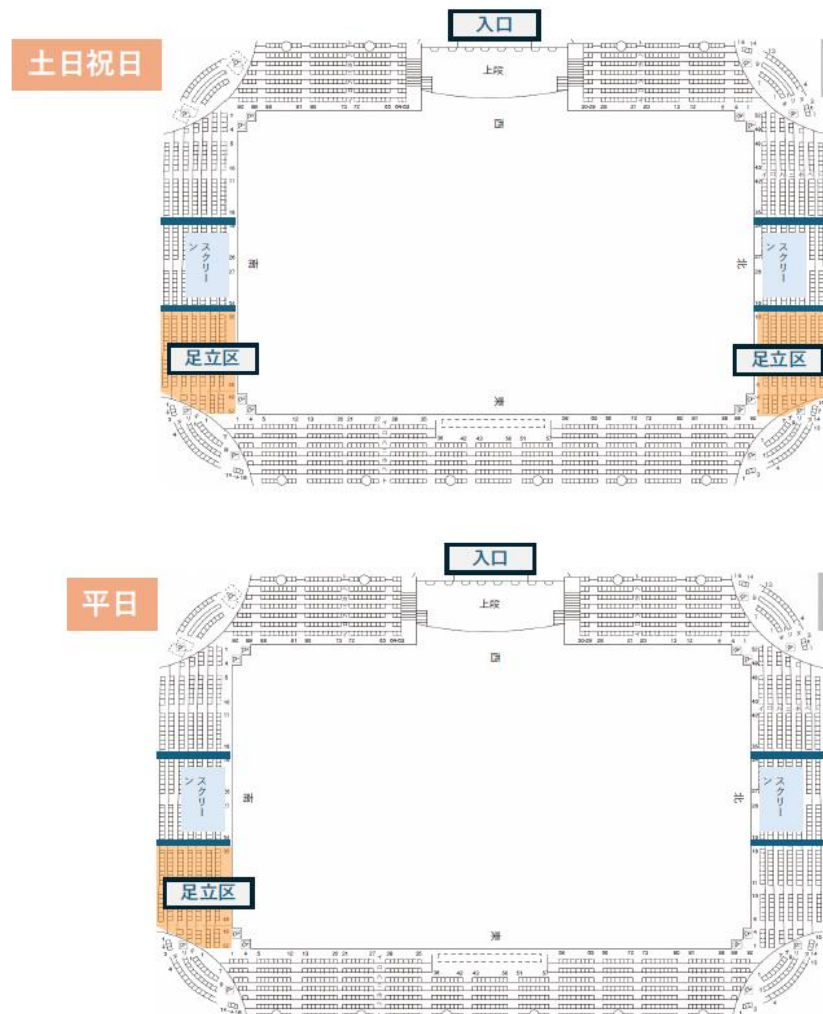
【スポーツカーニバル】



5 地元割当観戦席の確保

(1) 都と調整の結果、休日は224席、平日は112席の地元割当観戦席を確保した。

【地元割当席の場所】



(2) 2種類の区オリジナルチケット

ア 地元割当席で観覧できる「プレゼント引換券付特別観覧席」のチケット約1,000枚と来場者にプレゼントをお渡しする「来場者プレゼント引換券」1,500枚を作成した。

イ プレゼントの内容は共通で「シューズケース」と「シリコンリストバンド」

(3) チケットの配布方法

ア 綾瀬地区の町会自治会や綾瀬の小中学校などに事前にチケットを配布した。

イ あだち広報10月25日号で周知し、区オンライン申請システムによる一般申込者の受付を実施した。

ウ 一般申込の受付状況(10月29日現在)

「プレゼント引換券付特別観覧席」 = 400人

「来場者プレゼント引換券」 = 114人

6 大会期間中の歓迎イベント等

大会期間中のイベント等を次のとおり綾瀬駅東口駅前交通広場周辺で実施する。

イベント名	開催日	内容
歓迎イベント	11月16日(日) 23日(日) 24日(月・振休)	レクリエーションの体験ブース設置やキッチンカー最大4台(予定)の出展など、競技会場外で大会を盛り上げる。 11月23日(日)は「ぐるぐるKIOSK ^{※1} 」とタイアップ予定。
歓迎装飾	11月16日(日) ～ 11月25日(火)	トラスゲート ^{※2} 2台を設置予定。またフォトスポットを1か所設置し周囲を花で装飾。

※1 「あやセンターぐるぐる」や「ぐるぐる博」でやってみた人(出店した人)の次のステップとして、駅前の広場を使って、自分たちで会場の準備から運営まで行う(KIOSKとは小さな売店や小規模マルシェのこと)。

※2 複数の三角形による金属製骨組構造のゲートで主にイベント会場の入口などに設置する。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和 7 年 1 1 月 1 1 日

件名	令和7年度上半期パラスポーツ推進事業の実績について									
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課									
内容	令和7年度上半期のパラスポーツ推進の取り組みについて、次のとおり報告する。 1 足立区パラスポーツアクションプランの策定 令和6年3月から、附属機関であるパラスポーツ推進協議会において協議を開始し、令和7年9月1日付けで策定した（9月24日区民委員会報告事項）。 （1）計画期間 令和7年度から令和9年度までの3年間 （2）施策体系 ア パラスポーツ推進体制の構築 イ 障がいのある方へのパラスポーツの「場」や「機会」の拡充 ウ 障がいのある方へのパラスポーツ支援の充実 エ 健常者へのパラスポーツの普及を通じた障がい者理解促進 2 スペシャルクライフコートフェスティバルの実施結果 （1）内容 スペシャルクライフコートを中心とした、障がいの有無にかかわらずどなたでも一緒にスポーツを楽しめるイベントを実施した。 （2）開催日 令和7年4月29日（火・祝） （3）場所 総合スポーツセンター （4）参加人数（体験場所・ブースごとの延べ人数） 昨年に比べ、障がいの重い方にも楽しんでいただけるメニューを充実させたこともあり、障がい者の延べ参加者数が増加した。 [スペシャルクライフコートフェスティバル 参加者実績] <table><tr><td></td><td>延べ参加者数</td><td>前年比</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>2, 343人 (2, 564人)</td><td>91.4%</td></tr><tr><td>うち障がい者</td><td>311人 (237人)</td><td>131.2%</td></tr></table>		延べ参加者数	前年比	参加者数	2, 343人 (2, 564人)	91.4%	うち障がい者	311人 (237人)	131.2%
	延べ参加者数	前年比								
参加者数	2, 343人 (2, 564人)	91.4%								
うち障がい者	311人 (237人)	131.2%								

3 スペシャルライフコートの利用実績

昨年に比べ4月から5月に雨天が多かったことや、6月から9月にかけて猛暑が続いたため、利用者数は昨年度同時期に比べ減となった。

[スペシャルライフコート 利用者実績]

	延べ利用者数	前年比
利用者数	2, 599人 (4, 052人)	64.1%
うち障がい者	143人 (229人)	62.4%

※ () 内は前年度同時期の数値

4 障がいのある方の運動・スポーツ教室の開催実績

(1) 内容

障がいのある方が日常的に運動に親しむことを目的に、月2～4回ダンスや軽運動、サッカーなどを行う教室を実施した。

(2) 実施状況

個人向けの教室について、これまでの総合スポーツセンターでの実施に加え、新たな会場として江北地域学習センターでの教室を開講した。

[障がいのある方の運動・スポーツ教室 参加者実績]

実施会場	対象者	延べ参加者数	前年比
総合スポーツセンター	障がい者通所施設向け	444人 (360人)	123.3%
	個人向け	183人 (136人)	134.6%
江北地域学習センター	個人向け	84人	

※ () 内は前年度同時期の数値

5 あだちスポーツコンシェルジュの相談実績

(1) 令和7年度新規相談

障がい者通所施設等への事業周知は継続しているものの、傷病等による中途障がいの方への情報提供が不足するなど、広報活動が停滞したため、昨年度同時期に比べ、減となった。

[あだちスポーツコンシェルジュ 新規相談実績]

	障がい者本人・ 家族等からの相談	障がい者施設など 団体からの相談	合計
件数	5件 (15件)	11件 (14件)	16件 (29件)

※ () 内は前年度同時期の数値

(2) 障がい者からのスポーツ相談への主な対応事例

ア 身体障がいのある男性に、江北地域学習センターのトレーニングジムを案内、事前講習会に立ち会うなどし、活動につなげた。

イ 知的障がいのある男性に、区内でフライングディスクの活動をしている障がい者団体を紹介し、活動につなげた。

(3) 相談開始（令和2年9月）以降の相談件数及び対応状況（累計）

[あだちスポーツコンシェルジュ 累計相談実績]

年間合計	相談件数	対応状況
障がい者本人・ 家族等からの相談	140件	① 活動が定着 45件 ② 体験会等に参加 19件 ③ 体験等参加に向け調整中 26件 ④ 相談者からの希望により 情報提供のみ実施 50件
障がい者施設など 団体からの相談	71件	① パラスポーツの体験会等 を実施 50件 ② パラスポーツの指導者を 紹介 9件 ③ パラスポーツの体験会等 の実施場所を紹介 6件 ④ パラスポーツ事業に協力 1件 ⑤ 継続対応中 5件
合計	211件	

6 障がい者スポーツ活動助成金の交付実績

利便性向上のため、令和7年度から、オンライン申請対応を開始した。

[障がい者スポーツ活動助成金 交付実績]

年度	交付申請件数	交付決定件数	交付額
令和6年度	289件	281件	2,470,200円
令和7年度 上半期	210件	209件	1,989,400円

※ 令和7年度上半期の交付額は今後、交付予定の金額

※ 申請は年度内1回まで、毎年度行うことが可能

7 今後の方針

(1) あだちスポーツコンシェルジュ等のパラスポーツ事業の利用促進を図るため、次のような周知強化を行う。

ア 区内医療機関への情報提供

イ 足立区 LINE 公式アカウントにおける障がい者支援機能の活用

	(2) 令和7年度までの時限として実施していた障がい者スポーツ活動助成について、経済的な理由によりスポーツを諦めてしまう障がい者を支援するため、令和8年度以降も継続して実施する。 (3) パラスポーツアクションプランに基づく取り組みを実践し、パラスポーツ推進協議会での審議を通じて、取り組みを発展させていく。
--	--

区民委員会報告資料

令和7年11月11日

件名	令和7年度第2回足立区立図書館協議会の開催結果について							
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館 図書館サービスデザイン担当課							
内容	9月29日（月）に開催した足立区立図書館協議会（以下、「協議会」という。）にて、漫画の収集及び館内のルール・マナーの見直しについて意見交換を行った。主な内容と今後の方針について、次のとおり報告する。 1 協議会の目的 （1）図書館の運営やサービスに関して、中央図書館長の諮問に応じ、意見を述べる。 （2）図書館の運営やサービスに関して、各委員の立場から意見を述べる。 ※ 毎年度、諮問及び答申は各1回。諮問後、会議を3回程度開催して意見交換し、答申を行う。 2 第2回協議会の開催日時 令和7年9月29日（月）午後2時から4時まで 3 館内のルール・マナーの見直しについて 「音」「館内での撮影」「電源の利用」について、中央図書館における来館者アンケートの結果（下記参照）を説明のうえ、意見交換を行った。 それぞれの見直しについて、寛容な立場と慎重な立場からの意見が出され、引き続き次回の協議会にて意見交換を深めることとなった。 <table border="1"> <tr> <th>項目</th><th>検討の背景</th><th>協議会の意見</th></tr> <tr> <td>音</td><td> ① 乳幼児や高齢者、障がい者の方の中には、泣き声や話し声など音を出すことを気にして図書館の利用を控えていた人がいる。 ② 家族・友人や図書館のスタッフと会話をしながら本を探したい、友達と教え合いながら勉強したいという要望も出ている。 </td><td> ① 子育て世代に配慮した音のルールや、乳児連れの保護者が気兼ねなく利用できるよう午前中を「にぎやかタイム」にするなど、子育て世代が活動しやすい時間帯への配慮が必要。 ② ゴーニングについては、平面図だけでは具体的なイメージが掴めず、議論が難しいため、次回の協議会では、実際に中央図書館の館内を見学したうえで、意見交換を行いたい。 </td></tr> </table>		項目	検討の背景	協議会の意見	音	① 乳幼児や高齢者、障がい者の方の中には、泣き声や話し声など音を出すことを気にして図書館の利用を控えていた人がいる。 ② 家族・友人や図書館のスタッフと会話をしながら本を探したい、友達と教え合いながら勉強したいという要望も出ている。	① 子育て世代に配慮した音のルールや、乳児連れの保護者が気兼ねなく利用できるよう午前中を「にぎやかタイム」にするなど、子育て世代が活動しやすい時間帯への配慮が必要。 ② ゴーニングについては、平面図だけでは具体的なイメージが掴めず、議論が難しいため、次回の協議会では、実際に中央図書館の館内を見学したうえで、意見交換を行いたい。
項目	検討の背景	協議会の意見						
音	① 乳幼児や高齢者、障がい者の方の中には、泣き声や話し声など音を出すことを気にして図書館の利用を控えていた人がいる。 ② 家族・友人や図書館のスタッフと会話をしながら本を探したい、友達と教え合いながら勉強したいという要望も出ている。	① 子育て世代に配慮した音のルールや、乳児連れの保護者が気兼ねなく利用できるよう午前中を「にぎやかタイム」にするなど、子育て世代が活動しやすい時間帯への配慮が必要。 ② ゴーニングについては、平面図だけでは具体的なイメージが掴めず、議論が難しいため、次回の協議会では、実際に中央図書館の館内を見学したうえで、意見交換を行いたい。						

項目	検討の背景	協議会の意見
館内での撮影	① 著作権保護を意識し図書館資料の撮影を防止する目的で、館内における撮影を禁止としてきた。 ② 近年、スマートフォンの普及やSNSの浸透などにより、家族や友人、自分自身、施設などの撮影ニーズが高まってきた。	① 撮影はトラブル防止のため、許可制にしたり、撮影可能な場所を限定したりするなど、慎重なルール作りが必要である。
電源の利用	① 現在の区の要綱では、使用目的を「調査等により情報機器類を使用する場合」に限定している。 ② パソコンやスマートフォンが生活や学習に不可欠となり、外出先でもこれらを利用・充電したいという需要が高まっている。	① 使用目的を限定する必要はない。 ② 一方で、バッテリーの発火リスクなどを考慮し、安全に関するルールは明確にするべきではないか。

4 漫画の収集について

事務局の素案が協議会にて了承された。主なポイントは、次のとおり。

(1) 収集の目的

- ア 地域資料としての保存・提供
- イ 学習・教養の入門書に代わる情報提供
- ウ 活字が苦手な人への暮らしに役立つ情報提供

(2) 収集する漫画の種別

記号	種別	収集目的	収集方針
A	足立区ゆかりの作家の作品	地域資料	収集する
B	足立区が舞台の作品		
C	学習漫画	入門書	
D	実用漫画		
E	コミックエッセイ		
F	特定主題を学べるストーリー漫画		
G	その他のストーリー漫画	芸術・文化	収集しない

※ 各種別の説明と主な作品例は別紙2のとおり

(3) 選定基準

- ア 足立区との関連性
- イ 区民に役立つ実用性
- ウ 内容の正確性
- エ 社会的な評価

(4) 収集冊数（案）

所蔵館	収集冊数
中央図書館	約 1, 5 0 0 冊
地域図書館（1 4 館）	1 4 館合計 約 3, 5 0 0 冊
合計	約 5, 0 0 0 冊

(5) 委員からの主な意見

ア 約 5, 0 0 0 冊という限られた冊数を考慮すると、まずは収集を始めやすい A～F の漫画から着実に開始する方がよい。

イ 「本を読まない人も訪れる」図書館を目指すのであれば、今回は収集対象外とした G についても、できるだけ早く導入してほしい。

5 今後の方針

(1) 館内のルール・マナーの見直しについては、今回の協議会での意見を踏まえ、第 3 回協議会（1 2 月 1 1 日開催予定）にて具体的な方針をまとめていく。

なお、音と撮影のルールの緩和については多様な意見があることが確認できたため、緩和の実施にあたっては丁寧な周知に努めていく。

(2) 漫画の収集については、事務局の素案が了承されたため、協議会の答申（令和 8 年 2 月頃）を踏まえて、令和 8 年度から収集を開始する。

【参考】中央図書館における来館者アンケートの結果概要

(1) 実施時期：令和 7 年 8 月 1 9 日（火）から 9 月 7 日（日）まで

(2) 回答者概要（計 1 8 3 人）

属性	人数	概要
子育て世代	8 9 人	① 9 割が区内在住。 ② 3 0 代後半から 4 0 代前半が全体の約半数。 ③ 「毎週利用」と「毎月利用」に分散。
中高生	9 4 人	① 9 割が区内在住。 ② 中学 2、3 年生、高校 3 年生が多い。 ③ 「毎週利用」が多い。

(3) 音に関する工夫について

選択肢	回答人数	割合
① 時間帯で分ける（タイムシェア）	4 4 人	2 4 %
② 曜日で分ける（タイムシェア）	5 人	3 %
③ エリアで分ける（ゾーニング） ※ スペースがあることが前提	1 2 9 人	7 0 %
④ その他	1 人	0. 5 %
無回答	4 人	2. 5 %

【自由回答を含めた結果概要】

ア 静かに過ごしたい利用者と、にぎやかに活動したい利用者が共存できる環境を求めている、特にエリア分けによるゾーニングが望ましいと考えている。

イ 子育て世代からは、子どもの特性上静かにさせることが難しい場面があるため、にぎやかなスペースの必要性がより強く訴えられていた。

(4) 撮影について

選択肢	回答人数	割合
① 他者のプライバシーに配慮されているならば（顔が映らない、人物がとても小さいなど）、人物を含んだ撮影OK	122人	67%
② 施設のみであれば（人物が写っていなければ）撮影OK	47人	25%
③ 撮影はNG	14人	8%
無回答	0人	0%

【自由回答を含めた結果概要】

ア 中高生は「学習記録やSNSでの情報共有」に、子育て世代は「子どもの成長記録やイベントの思い出作り」に撮影したいという意向が強く、プライバシーへの配慮を前提とした柔軟なルールを求めている。

イ 一方で、少数ながら、プライバシー侵害や迷惑行為への懸念も共通して存在していた。

【参考】足立区立図書館協議会委員名簿（令和7年9月29日時点）

（敬称略）

	氏 名	職歴等
1	大串 夏身 【議長】	昭和女子大学名誉教授 （図書館情報学）
2	原田 隆史 【副議長】	八洲学園大学教授 （図書館情報学）
3	豊田 恭子	東京農業大学教授 （学術情報課程）
4	坪 直孝	「あだち絵本シアター」事業協賛企業関係者
5	浅野 有美	区民
6	芦川 珠美	足立区青少年委員
7	小林 野渉	株式会社散歩社 YADOKARI株式会社 （あやセンター委託事業者）

	氏 名	職歴等
8	高橋 妙子	読み語りボランティアグループ代表
9	塚本 祐士	絵本作家
10	檜垣 由紀	区民 (郷土博物館展示解説ボランティア博友会会長)
11	藤田 利江	全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー
12	三浦 昌恵	NPO法人子育てパレット代表理事
13	柳川 富士雄	足立区視力障害者福祉協会会長
14	菊入 伸二	足立区立青井中学校校長
15	田中 岳晴	足立区立東栗原小学校校長

収集する漫画の種別と作品例

種別		説明	収集目的	主な作品例	収集方針
A	足立区ゆかりの作家の作品	区出身・在住作家の作品	地域資料	羽海野チカ『3月のライオン』 森川ジョージ『はじめの一步』	収集する
B	足立区が舞台の作品	全体または一部で足立区が舞台の作品		つげ義春『おばけ煙突』 鈴木小波『ホクサイと飯さえあれば』	
C	学習漫画	主に児童が対象で、学校で習う教科の内容を漫画で表現したもの	入門書	『日本の歴史』『世界の歴史』 『ドラえもんの学習シリーズ』 『世界史探偵コナン シーズン2』	
D	実用漫画	主に大人対象で、漫画を通して特定主題について学べる実用書・教養書		『中学数学は7日間でやり直せる。漫画でカンタン!』 『患者と家族のための漫画で学ぶ脳卒中』 『お花屋さんに聞く!漫画切り花図鑑』	
E	コミックエッセイ	主に大人対象で、作者の体験をもとに描かれたエッセイ・ルポルタージュ		『実録 保育士でこ先生』 保育 『人生最大の失敗』 離婚 『中年女子、ひとりで移住してみました』 農村生活	
F	特定主題を学べるストーリー漫画	歴史・医療など、読むことで知識が広がり、様々な分野への関心が高まる作品		こうの史代『ぼおるぺん古事記』 日本神話 柏木ハルコ『健康で文化的な最低限度の生活』 生活保護 清水茜『はたらく細胞』 人体 鈴ノ木ユウ『コウノドリ』 産科医療 井上雄彦『スラムダンク』 バスケットボール	
G	その他のストーリー漫画	上記以外の作品	芸術・文化	鳥山明『ドラゴンボール』 山田鐘人・アベツカサ『葬送のフリーレン』	現時点では収集しない

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和7年11月11日

件名	梅田八丁目複合施設整備に係る地域への説明状況について																														
所管部課名	<u>地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館</u> 図書館サービスデザイン担当課、地域のちから推進部住区推進課、 政策経営部エリアデザイン推進室エリアデザイン計画担当課、 政策経営部あだち未来創造室SDGs・協創推進課、 施設営繕部西部地区建設課、都市建設部道路公園整備室道路整備課、 パークイノベーション推進課																														
内容	梅田八丁目複合施設の設計について、複合施設と公園、道路との一体整備を目指し、設計業務に取り組んでいる。現在の地域への説明状況および、区民ワークショップの状況について、次のとおり報告する。 １ 一般区民向け住民説明会について 梅田八丁目複合施設及び周辺環境（公園、道路）の設計概要について、整備用地周辺地域の住民を対象として以下のとおり実施した。 （１）開催日時、会場及び参加者数 <table><tr><td>第１回</td><td>９月１２日（金）</td><td>こども家庭支援センターげんき</td></tr><tr><td>午後</td><td>７時から午後</td><td>８時まで</td></tr><tr><td></td><td></td><td>３６人参加</td></tr><tr><td>第２回</td><td>９月１３日（土）</td><td>こども家庭支援センターげんき</td></tr><tr><td>午前</td><td>１０時から午前</td><td>１１時まで</td></tr><tr><td></td><td></td><td>３２人参加</td></tr><tr><td></td><td></td><td><u>合計 ６８人参加</u></td></tr></table> （２）主な質疑 <table><tr><th>No.</th><th>質問</th><th>回答</th></tr><tr><td>１</td><td>梅田図書館よりも規模が縮小してしまうのではないかと。蔵書数や席数はどうなるのか【同様の質問１件】。</td><td>蔵書数、席数ともに拡充する。蔵書数は約８万冊から約９万冊に、座席数は約２００席から約５００席になる。</td></tr><tr><td>２</td><td>夜間に複合施設周辺で中高生が騒ぐことが懸念される。複合施設でいたずらなどが無いよう、防犯対策をしっかりとしてほしい【同様の質問１件】。</td><td>夜間の防犯対策として、光害にならない範囲で夜間照度を維持するほか、機械警備を設定するなどの対策を行う。</td></tr></table>	第１回	９月１２日（金）	こども家庭支援センターげんき	午後	７時から午後	８時まで			３６人参加	第２回	９月１３日（土）	こども家庭支援センターげんき	午前	１０時から午前	１１時まで			３２人参加			<u>合計 ６８人参加</u>	No.	質問	回答	１	梅田図書館よりも規模が縮小してしまうのではないかと。蔵書数や席数はどうなるのか【同様の質問１件】。	蔵書数、席数ともに拡充する。蔵書数は約８万冊から約９万冊に、座席数は約２００席から約５００席になる。	２	夜間に複合施設周辺で中高生が騒ぐことが懸念される。複合施設でいたずらなどが無いよう、防犯対策をしっかりとしてほしい【同様の質問１件】。	夜間の防犯対策として、光害にならない範囲で夜間照度を維持するほか、機械警備を設定するなどの対策を行う。
第１回	９月１２日（金）	こども家庭支援センターげんき																													
午後	７時から午後	８時まで																													
		３６人参加																													
第２回	９月１３日（土）	こども家庭支援センターげんき																													
午前	１０時から午前	１１時まで																													
		３２人参加																													
		<u>合計 ６８人参加</u>																													
No.	質問	回答																													
１	梅田図書館よりも規模が縮小してしまうのではないかと。蔵書数や席数はどうなるのか【同様の質問１件】。	蔵書数、席数ともに拡充する。蔵書数は約８万冊から約９万冊に、座席数は約２００席から約５００席になる。																													
２	夜間に複合施設周辺で中高生が騒ぐことが懸念される。複合施設でいたずらなどが無いよう、防犯対策をしっかりとしてほしい【同様の質問１件】。	夜間の防犯対策として、光害にならない範囲で夜間照度を維持するほか、機械警備を設定するなどの対策を行う。																													

No.	質問	回答
3	サイレントルームの50席は、現在の梅田図書館の自習席約100席に比べて少ないと感じる。座席数を増やせないか【同様の質問1件】。	サイレントルームの周辺にも比較的静かな環境で自習が可能な席が50席あり、合わせると100席程度となる。施設全体で見れば、自習可能な席は拡充する予定である。
4	エスカレーターを設置できないか【同様の質問1件】。	1階と2階の間の移動手段は、エレベーター2機と階段2か所とした。障がい者の方の利用や災害時のストレッチャーの使用、図書館資料の運搬などを考慮して、エスカレーターではなくエレベーターを選択した。現時点でエスカレーターを設置する予定はない。
5	亀田トレイン公園のトイレを撤去し、複合施設が開館している時間しかトイレが使えなくなってしまうのは不便であるため、撤去しないでほしい。	複合施設の開館時間は午前9時から午後9時頃までを想定しており、撤去の影響は大きくはないと考えている。なお、複合施設の開館時間は梅田亀田公園のトイレを使用いただくが、同公園のトイレは男女を別にし、バリアフリースイートイレも整備するため、トイレとしての機能は向上する予定である。
6	亀田トレイン公園のトイレを無くすにしても、子どもが手を洗えるように、手洗い場は残してほしい。	公園で遊んだ後や図書館に入る前に使えるよう、手や足の洗い場は残していく。

2 避難所機能に関する地元説明について

(1) 亀田小学校避難所運営会議

ア 日時・場所

令和7年9月26日（金） 梅田住区センター

イ 主な意見

(ア) 災害時に複合施設が使えるなら活用したい。水害時は2階に避難することとし、震災時は亀田小学校の避難スペースが満員の際にどう活用すればよいか一緒に考えたい。

(イ) 休館や深夜等の閉館時に災害が起きた場合、鍵開けをどうするかは今後の課題だろう。

3 障がい者団体への説明について

足立区公共施設等整備基準に基づき、令和7年9月から10月にかけて、次のとおり対面による説明会にてデザインレビューを実施した。

(1) 実施日・対象

9月11日（木） 足立区手をつなぐ親の会

9月30日（火） 足立区障害者団体連合会

10月 7日（火） 足立区肢体不自由児者父母の会

(2) 主な質疑

No.	質問	回答
1	バリアフリースイレは、介助者2名も入室可能だが、ベッドの両側から介助できるよう配慮してほしい。	ベッド両側から介助可能となるよう、仕様や配置を工夫する。
2	2階の階段付近で、眺望に気を取られて階段から落ちないように、対策をしてほしい。	階段付近の床の明るさをはっきり色分けしたり、点字ブロックで注意喚起する等の工夫をする。
3	「本の島」の書架間の通路スペースは十分な広さを確保してほしい。	書架間の通路スペースは、通常1.2m程度だが、車いすの通行に支障がないように2m以上を計画している。

4 区民向けワークショップ

(1) 目的

ア 複合施設の空間や運営のあり方に関する検討を深めること。

イ 複合施設の目指す姿の一つとして掲げる「協働・協創」の実現に向け、意見交換や共同作業を通じて複合施設に長く関わってもらえる区民を増やすこと。

(2) テーマ

自分ごととして考える

— 梅田八丁目複合施設の検討のための実践 —

(3) 日時・会場・内容

10月5日（日）午後1時から4時まで

第1部 梅田八丁目創出用地

創出用地内の簡易菜園での種まき体験

第2部 亀田小学校

《グループワーク》

① うめはちで「やってみたいこと」を考える

② 「こんな施設だったら私は行きたい」～施設の使い方やルールを考える～

(4) 参加者

中学生・高校生、大学生、子育て世代、地域の方（町会・自治会、PTAなど） 計27名

(5) 主な意見

ア グループワーク①における意見

(ア) アニメやドラマ、音楽など「好き」が同じ人と語ったり見せ合う交流や、演奏など自分の「得意」を見せる場ができるとよい。

(イ) 子育てはできて当然と思われがち。ママたちに頑張ってるね、ありがとうを伝えられる場があると良い。

イ グループワーク②における意見

(ア) カフェ以外でも飲食OKが良い。ただし、汚したら自分で掃除することは必要。

(イ) ゆったり利用もアクティブな利用も、どちらか一方をはじかないルールが良い。

5 今後の方針

令和7年度末の設計業務完了に向けて、実施設計、積算、計画通知・申請関連手続きを着実に進めていく。

【令和7年度末までのスケジュール（予定）】

時期	内容
令和7年11月以降	計画通知・申請関連手続き
令和7年度末	設計業務の完了